

岩手県自殺対策推進センター ニュースレター

No.86 2019.11.1

発行：岩手県精神保健福祉センター・岩手県自殺対策推進センター

このニュースレターは、県内に拡がりつつある自殺対策支援の輪を強化するため、地域の自殺対策のノウハウに関する情報を発信していきます。

ニュース 11/10～16は アルコール関連問題啓発週間です

毎年11月10日～16日までをアルコール関連問題啓発週間です。岩手県では、平成30年3月に「岩手県アルコール健康障害対策推進計画」を策定し、アルコール関連問題について県民一人ひとりが理解を深めるためのフォーラムを開催するとともに、病院・保健所などの支援機関・自助グループ等が連携して、早期に支援する体制づくりを進めています。適度な飲酒は、ストレスの緩和やコミュニケーションの促進などの良い効果がありますが、不適切な飲酒は、健康障害や依存症の原因と

なるだけでなく、飲酒運転や暴力、失業など様々な問題を引き起こし、自殺のリスク要因となります。啓発週間を通して、取り組みの強化をお願いいたします。

また、令和元年10月11日に厚生労働省から発表された「警察庁の自殺統計に基づく自殺者数の推移等」によると、令和元年9月の自殺者数は、1,589人（速報値）で、対前年比139人（約8.0%）減となりました。

岩手県の令和元年9月自殺者数は、24人（速報値）で、**対前年比1人（約4.0%）減**となりました。

発表されたデータはこちらのページから参照できます。
厚生労働省）～自殺対策）～自殺の統計：最新の状況
http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/shougaisahukushi/jisatsu/jisatsu_new.html/



	平成30年（確定値）		令和元年（暫定値）		自殺者数対前年比	
	自殺者数（人）	自殺死亡率（%）	自殺者数（人）	自殺死亡率（%）	自殺者数（人）	増減率（%）
全国	1,728	1.4	1,589	1.3	△139	△8.0
岩手	25	2.0	24	1.9	△1	△4.0

トピックス 依存症への取り組み

依存症とは、物質使用（アルコール・薬物など）や行為（ギャンブル・ゲーム・買い物など）、人間関係（虐待・恋愛など）によって、生活に支障が出ているにも関わらず、自分の意思だけではコントロールできなくなる病気です。依存症が進行すると、身体的・精神的問題だけでなく、家族関係が悪化したり、仕事や対人関係がうまくいかず経済的問題が生じたり、犯罪（窃盗、傷害など）に至る場合もあります。

どんな人でも依存症になる可能性があります。多くの方は、辛い気持ちなどの苦痛を和らげる効果を求めて、自己治療的に依存すると言われています。

回復は一人では難しく、継続的なサポートが不可欠です。当センターでは、電話・来所での相談のほか、「薬物依存症回復支援プログラム SMARPP」や「依存症家族教室」を実施し、本人や家族の回復を支援してします。また、支援者の資質向上と連携推進のために年2回研修会を開催しており、12月6日には埼玉県立精神医療センターの成瀬暢也先生をお招きして研修会を開催します（インフォメーション参照）。

インフォメーション 11月～研修会等のご案内

◇精神障がい者地域移行・地域生活支援関係者基礎研修

日程：令和元年12月2日（月） 10：00～16：00

会場：アイーナ8階 812研修室

対象：精神科病院の職員等

講師：未来の風せいわ病院

理事長 智田 文徳 先生

活動報告者：①医療機関の立場から

宮古山口病院

診療補助副部長兼地域生活支援室長

小成 祐介氏

②相談支援事業所の立場から

友とぴあ相談支援事業所

管理者 伊達 牧子氏

③行政の立場から

滝沢市健康福祉部地域福祉課

主任保健師 佐々木 悠美氏

◇依存症支援者研修会

日程：令和元年12月6日（金） 13：00～16：00

会場：アイーナ5階 501会議室

対象：アルコール・薬物・ギャンブル等依存症者の支援に

携わる医療・行政・司法・相談支援機関等の職員

講師：埼玉県立精神医療センター

副病院長 成瀬 暢也 先生

「誰にでもできる依存症の治療と支援」

各プログラムの詳細はホームページでご案内しております。

申込書、チラシをダウンロードできます。

ご不明な点、ご質問等は、お電話でお問合せ下さい

お申込み・お問合わせ

岩手県精神保健福祉センター

☎ 019-629-9617

（土日祝日、年末年始を除く9時～16時30分）